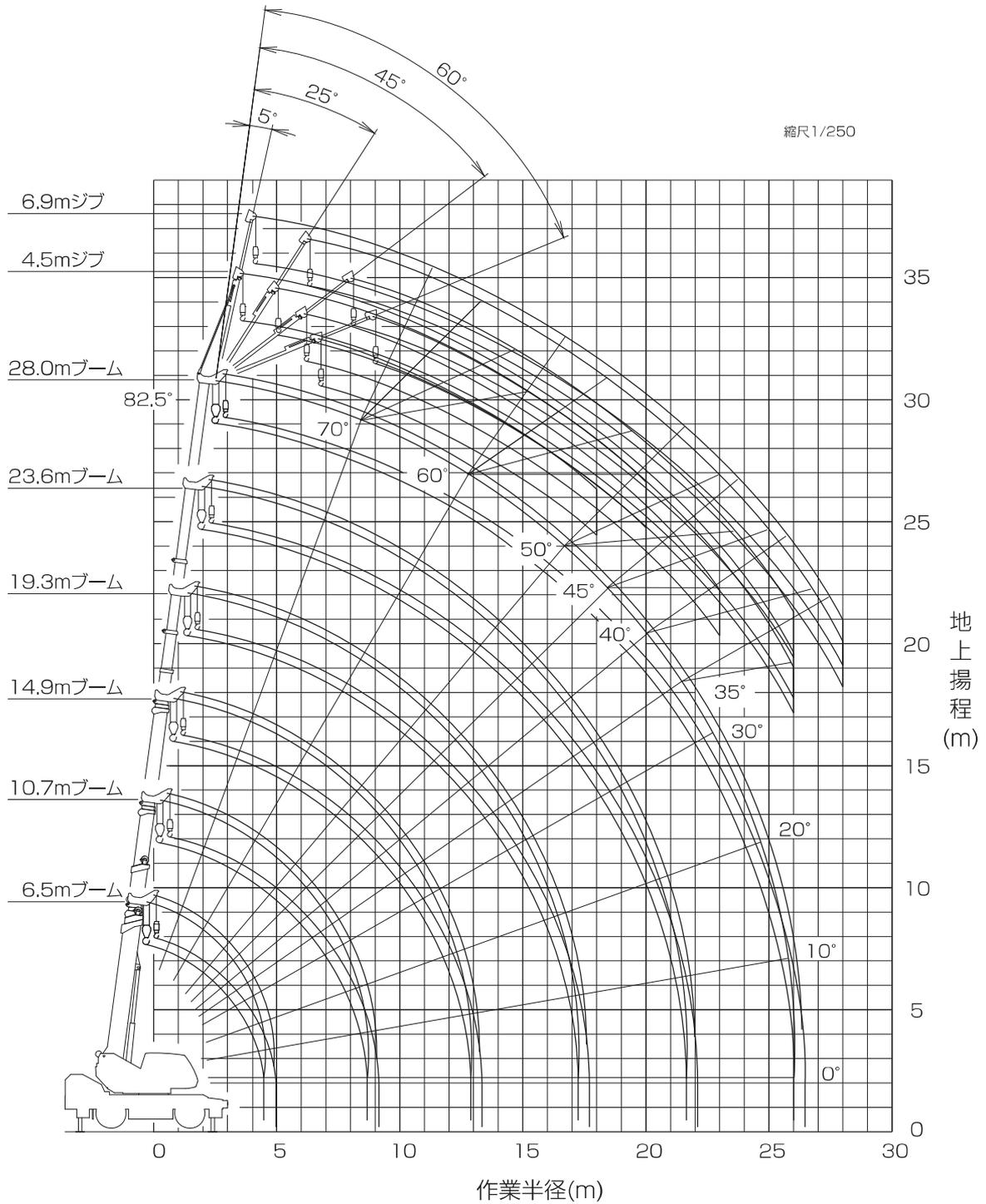


■作業半径-揚程図



(注) 1.上図は、ブームおよびジブのたわみを含んでいません。
 2.上図は、アウトリガ最大(5.2m)張出状態での図です。

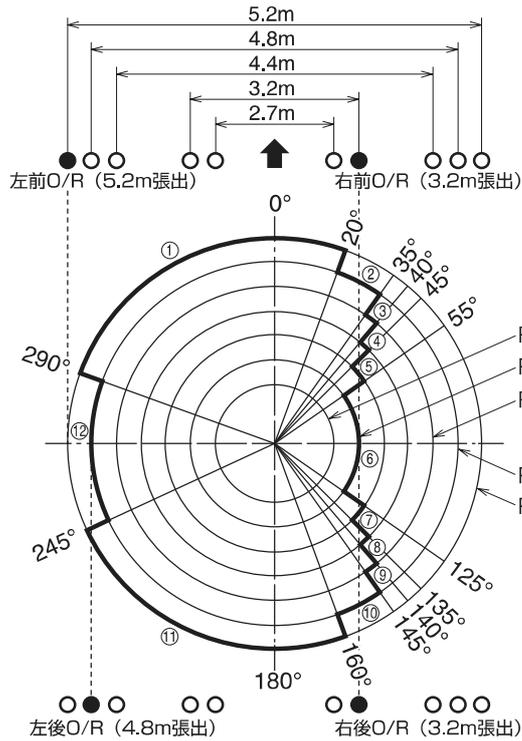
■作業領域図の見方

作業領域図の円の大きさは、アウトリガ張出幅で決まる性能に対応しています。

		適用性能 (ブーム作業)	適用性能 (ジブ作業)
円 1	5.2 m	○	○
円 2	4.8 m	○	○
円 3	4.4 m	○	○
円 4	(4.0 m)	○	○
円 5	(3.6 m)	○	○

		適用性能 (ブーム作業)	適用性能 (ジブ作業)
円 6	3.2 m	○	○
円 7	2.7 m(X型)	○	△
	1.79 m(H型)	○	△

一例 (X型アウトリガ)



図のアウトリガ張出幅でブーム作業を行う場合、作業領域別の性能および範囲は、次のようになります。

- ①の領域：最大張出 (5.2m) 性能
- ②の領域：中間張出 (4.8m) 性能
- ③の領域：中間張出 (4.4m) 性能
- ④の領域：アウトリガ張出幅 (4.0m) で補間計算した性能
- ⑤の領域：アウトリガ張出幅 (3.6m) で補間計算した性能
- ⑥の領域：中間張出 (3.2m) 性能
- ⑦の領域：アウトリガ張出幅 (3.6m) で補間計算した性能
- ⑧の領域：アウトリガ張出幅 (4.0m) で補間計算した性能
- ⑨の領域：中間張出 (4.4m) 性能
- ⑩の領域：中間張出 (4.8m) 性能
- ⑪の領域：最大張出 (5.2m) 性能
- ⑫の領域：中間張出 (4.8m) 性能

それぞれの性能領域を結ぶ切換領域は5° とし、それぞれの性能で比例して増減しています。

■作業領域図

